

## データ入力業務について(個別避難計画)

### 見本1

#### 1 台帳番号 (入力1)

⇒用紙1枚目の右上記載の< >で囲まれた10桁の数値を左側の0を除いて入力。

パンチ例:<0000001023>の場合、「1023」と入力

#### 2 「情報提供に同意されるか/されないか」の回答 (入力2)

- 1 同意しません。
- 2 一部提供することに同意します。
- 3 全部提供することに同意します。

0:同意なし  
1:一部同意あり  
2:全部同意あり

⇒「同意しません」にチェックが入っている、又は○印で囲んでいる場合は「0」、「一部提供することに同意します。」の場合は「1」、「全部提供することに同意します。」の場合は「2」を入力

#### 3 連絡先 (入力3)

⇒「－(ハイフン)」の記載がなければ「－(ハイフン)」を追加入力。

#### 4 「1 災害時にどこへ避難しますか？」の回答 (入力4)

【避難場所(第一候補)】

【避難場所(第二候補)】

⇒それぞれ記載があれば、記載文言を入力。なければ次項目へ。

パンチ例:【避難場所(第一候補)】「いずみの園公園(メイシアター)」

【避難場所(第二候補)】「総合福祉会館」

避難場所	
第一候補	第二候補
いずみの園公園(メイシアター)	総合福祉会館

#### 5 「2 いつ避難しますか？」の回答 (入力5)

【洪水/土砂災害】

- 1 警戒レベル3(高齢者等避難)が発令されたら…
- 2 その他( )

【地震】

- 1 地震の揺れが治まり、安全確認の上、…
- 2 その他( )

⇒【洪水/土砂災害】、【地震】ともに同様の処理。

⇒○印で囲んである番号を「番号」欄に入力。なければ次項目へ。

⇒その他の( )内に記載があれば、「その他」欄に記載文言を入力。なければ次項目へ。

パンチ例:【洪水/土砂災害】「2」「近所の人が避難したら」

【地震】「1」

避難開始			
洪水/土砂災害		地震	
番号	その他	番号	その他
2	近所の人が避難したら	1	

## 6 「3 自宅の玄関まで移動することはできますか？」の回答 (入力6)

- 1 自力でできる
- 2 家族と一緒にならできる
- 3 支援者と一緒にならできる
- 4 わからない

⇒○印で囲んである番号を入力。なければ次項目へ。

パンチ例:「1」

玄関までの移動
番号
1

## 7 「4 避難場所までどうやって避難しますか？また…」の回答 (入力7)

【自宅から第一避難場所まで】

※ 複数選択あり

- 1 徒歩
  - 2 車いす
  - 3 車
  - 4 その他( )
- 「手伝ってほしいこと」

【上記から第二避難場所まで】

※ 複数選択あり

- 1 徒歩
  - 2 車いす
  - 3 車
  - 4 その他( )
- 「手伝ってほしいこと」

⇒【自宅から第一避難場所まで】、【上記から第二避難場所まで】ともに同様の処理。

⇒○印で囲んである番号を「番号」欄に入力。なければ次項目へ。

複数回答がある場合は、全角読点で区切って入力。

⇒その他の( )内に記載があれば、「その他」欄に記載文言を入力。なければ次項目へ。

⇒「手伝ってほしいこと」に記載があれば、「手伝ってほしいこと」欄に記載文言を入力。なければ次項目へ。

パンチ例:【自宅から第一避難場所まで】「1」「杖をついての移動のため手を貸してほしい。」

【上記から第二避難場所まで】「1、2」「坂道のためできれば車いすで押してほしい。」

避難方法					
第一避難場所まで			第二避難場所まで		
番号	その他	手伝ってほしいこと	番号	その他	手伝ってほしいこと
1		杖をついての移動のため 手を貸してほしい。	1、2		坂道のためできれば車い すで押してほしい。

## 8 「5 一緒に逃げる人、支援してくれる人」の回答 (入力8)

【自宅から第一避難場所まで】

1 自力で

2 家族と一緒に

「支援してくれる人」

氏名①②、関係①②、住所・連絡先①②

【上記から第二避難場所まで】

1 自力で

2 家族と一緒に

「支援してくれる人」

氏名①②、関係①②、住所・連絡先①②

⇒【自宅から第一避難場所まで】、【上記から第二避難場所まで】ともに同様の処理。

⇒○印で囲んである番号を「番号」欄に入力。なければ次項目へ。

⇒「支援してくれる人」に記載があれば、氏名は「氏名①」欄、関係は「関係①」欄、住所・連絡先はそれぞれ分けて、「住所①」欄と「連絡先①」欄に記載文言を入力。

⇒外字での記載は常用漢字で入力可。対応する漢字がなければ、かな入力。

⇒氏名は苗字しか記載がない場合は、苗字のみ入力。

⇒連絡先は「－(ハイフン)」の記載がなければ「－(ハイフン)」を追加入力。

⇒2人目は記載があれば、それぞれ②のところに入力。なければ次項目へ。

パンチ例:【自宅から第一避難場所まで】「1」

【上記から第二避難場所まで】「1」「役所 吾郎」「知人」「吹田市泉町 2-29-1」

「06-0000-0000」

支援者								
第一避難場所まで								
番号	氏名 ①	関係 ①	住所①	連絡先①	氏名 ②	関係 ②	住所②	連絡先②
1								
第二避難場所まで								
番号	氏名 ①	関係 ①	住所①	連絡先①	氏名 ②	関係 ②	住所②	連絡先②
1	役所 吾郎	知人	吹田市泉町 2-29-1	06-0000 -0000				

※【自宅から第一避難場所まで】と【上記から第二避難場所まで】で別段に分けていますが、実際は同じ段です。

## 見本2

### 9 「1 避難支援に必要な情報」の回答 (入力9)

【制度利用状況(手帳や認定など)】

- 1 身体障害者手帳 1・2 級
- 2 精神障害者手帳保健福祉手帳 1 級
- 3 療育手帳 A
- 4 要介護 3～5
- 5 その他( )

※ 複数選択あり

#### 補足説明

設問内の等級の記載対応は不要。

1～5 の先頭番号、部位 (記載あれば) 入力。

例) 1 身体障害者手帳 1・2 級 (部位 腎臓)

入力は 1 のみ。部位は腎臓を入力。

【屋内移動】

- 1 自力歩行可
  - 2 杖歩行
  - 3 歩行に介助が必要
  - 4 車いす
  - 5 その他
- 「留意事項」

※ 複数選択あり

【情報伝達】

- 1 通常会話可
- 2 見えづらい・見えない
- 3 聞こえづらい・聞こえない
- 4 言葉で伝えづらい・伝えられない
- 5 その他( )

※ 複数選択あり

#### 補足説明 (細選択は対応不要)

1～5 の先頭番号のみを入力。

例) 2 見えづらい・見えない

入力は 2 のみ。

「伝達方法」

- 1 通常会話可
- 2 手話
- 3 筆談
- 4 その他( )

※ 複数選択あり

⇒【制度利用状況】、【屋内移動】、【情報伝達】ともに同様の処理。

⇒○印で囲んである番号を「番号」欄に入力。なければ次項目へ。

複数回答がある場合は、全角読点で区切って入力。

⇒【制度利用状況】と【情報伝達】について、その他の( )内に記載があれば、「その他」欄に記載文言を入力。なければ次項目へ。

⇒【屋内移動】について、「留意事項」に記載があれば記載文言を入力。なければ次項目へ。

パンチ例:【制度利用状況】「1、2、5」「腎臓」「要介護 2」

【屋内移動】「2」「歩きづらいため肩を貸してほしい。」

【情報伝達】「3、5」「認知症のため曖昧」「1」

避難支援情報								
制度利用状況			屋内移動		情報伝達			
番号	障がい 部位	その他	番号	留意事項	番号	その他	伝達 方法	その他
1、 2、5	腎臓	要介護 2	2	歩きづらいため、肩 を貸してほしい。	3、5	認知症のため曖昧	1	

【医療的ケア】

※ 複数選択あり

- 1 なし
- 2 人口呼吸器
- 3 人工透析
- 4 吸引
- 5 人工肛門
- 6 酸素療法
- 7 気管切開
- 8 その他( )

【特記事項】

⇒記載があれば記載文言を入力。なければ次項目へ。

【避難生活に必要な物】

- 1 なし
- 2 あり( )

補足説明 (※例示列举に○がある場合)  
 ※医療機器、衛生用品、薬、お薬手帳・・・  
 上記○も必要な物として、入力してください。

⇒【医療的ケア】、【特記事項】、【避難生活に必要な物】ともに同様の処理。

⇒○印で囲んである番号を「番号」欄に入力。なければ次項目へ。

複数回答がある場合は、全角読点で区切って入力。

⇒【医療的ケア】について、その他( )内に記載があれば「その他」欄に記載文言を入力。

⇒【特記事項】について、記載があれば記載文言を入力。なければ次項目へ。

⇒【避難生活に必要な物】について、ありの( )内に記載があれば「あり」欄に記載文言を入力。

パンチ例:【医療的ケア】「3、6」

【特記事項】「高血圧症の薬を服用していて、食事は柔らかいものやあっさりしたものしか食べられない。」

【避難生活に必要な物】「2」「薬、サポーター、眼鏡、補聴器」

避難支援情報				
医療的ケア		特記事項	避難生活に必要な物	
番号	その他		番号	あり
3、6		高血圧症の薬を服用していて、食事は 柔らかいものやあっさりしたものしか 食べられない。	2	薬、サポーター、 眼鏡、補聴器

## 10 「2 建物の構造(避難基準)」の回答 (入力10)

### 【1 段目】

- 1 木造(築 年)
- 2 鉄骨・鉄筋コンクリート(築 年)
- 3 不明・その他

### 【2 段目】

- 1 戸建て( 階建)
- 2 共同住宅・集合住宅( 階建/ 階)

⇒1 段目、2 段目ともに同様の処理。

⇒○印で囲んである番号を「番号」欄に入力。なければ次項目へ。

⇒( )内に記載があれば、「築数」欄、「階数」欄に入力。

パンチ例:【1 段目】「2」「20」

【2 段目】「2」「5」「3」

建物構造				
1 段目		2 段目		
番号	築数	番号	階建	階数
2	20	2	5	3

## 11 「3 緊急連絡先」の回答 (入力11)

「フリガナ・氏名」

「関係」

「住所・連絡先」

⇒フリガナは「フリガナ」欄、氏名は「氏名」欄、関係は「関係」欄、住所・連絡先はそれぞれ分けて「住所」欄、「連絡先」欄に入力。なければ次項目へ。

⇒外字での記載は常用漢字で入力可。対応する漢字がなければ、かな入力。

⇒フリガナは、氏名がひらがなで記載されていない場合は、ひらがな部分も追加入力

⇒氏名は苗字しか記載がない場合は、苗字のみ入力。

⇒連絡先は「－(ハイフン)」の記載がなければ「－(ハイフン)」を追加入力。

⇒2 人目は記載があれば、1 人目と同様に入力。なければ次項目へ。

パンチ例:【1 人目】「スイタ イチロウ」「吹田 一郎」「長男」

「愛知県名古屋市〇〇町〇番〇号」「090-〇〇〇〇-〇〇〇〇」

【2 人目】空白

緊急連絡先				
1 人目				
フリガナ	氏名	関係	住所	連絡先
スイタ イチロウ	吹田 一郎	長男	愛知県名古屋市 〇〇町〇番〇号	090-〇〇〇〇- 〇〇〇〇
2 人目				
フリガナ	氏名	関係	住所	連絡先

※1 人目と 2 人目で別段に分けていますが、実質は同じ段です。

## 12 「4 個別避難計画作成者」の回答 (入力12)

「フリガナ・氏名」

「関係又は所属」

「住所・連絡先」

⇒フリガナは「フリガナ」欄、氏名は「氏名」欄、関係は「関係」欄、住所・連絡先はそれぞれ分けて「住所」欄、「連絡先」欄に入力。なければ次項目へ。

⇒外字での記載は常用漢字で入力可。対応する漢字がなければ、かな入力。

⇒フリガナは、氏名がひらがなで記載されていない場合は、ひらがな部分も追加入力

⇒氏名は苗字しか記載がない場合は、苗字のみ入力。

⇒連絡先は「－(ハイフン)」の記載がなければ「－(ハイフン)」を追加入力。

パンチ例:「フクシ ハナコ」「福祉 はな子」「ケアプランセンター」「吹田市泉町○番○号」  
「090-○○○○-○○○○」

計画作成者				
フリガナ	氏名	関係・所属	住所	連絡先
フクシ ハナコ	福祉 はな子	ケアプランセンター	吹田市泉町○番○号	090-○○○○-○○○○

## 13 受付年月日 (入力13)

受付印又は受付日が明示されていない場合は、パンチ入力日を記入。

パンチ例: 受付日(令和)5. 4. 1 ⇒ パンチ「5050401」

### ・出力フォーマットについて

⇒ファイル名は「個別避難計画パンチデータ.csv」とする。

⇒項目間の区切り文字は「半角カンマ(,)」とする。